

経済倶楽部便り

◆東京◆ 最近、石橋湛山氏の東洋経済時代の活動として経済倶楽部に注目する動きが盛んです。7月に入り、当倶楽部にNHKのEテレビの特集番組取材が入りました。また、倶楽部会

員の自主的な勉強会でも、9月に石橋湛山氏の若手研究者を招いて懇談会を開くとのことです。経済倶楽部の第1回講演会は1931年7月8日で、「国際モラトリアム問題について」と題し、元大蔵官僚で貴族院議員だった森賢吾氏が行いました。以来、講演回数は今回の掲載分で4075回を数え、これだけでも日本のなかでは他にない講演会と言えます。ただ、戦前の年

を追うごとに言論への圧迫が高まる時代の中で行われた、通説を疑い、蒙を啓くような講演会になっているか、常に心に掛けておきたいと思えます。7月の新会員をご紹介します。岡村宏一・SMBコンサルティング執行役員部長、前原敬子・MBCプロデューズ代表取締役の名です。8月の講演会はお休みとなります。

◆中部◆ 7月15日の定例講演会の後、恒例の夏季懇親会を開催。石丸典生・デンソー顧問の開会挨拶に続き、山縣裕一郎・東洋経済新報社社長が乾杯の挨拶を行いました。懇談の場では「東京の講演会を衛星テレビで見られないか」などのユニークな意見が出ていました。その後は簡単な景品付きのクイズ大会で盛り上がりました。8月の講演会はお休みです。（日暮良一）